謹賀新年

津奈木
前安九吉

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木村
電話（津奈木）24番
編集人　岡松　壮
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）（代）3118番

年頭の辞

村長　齊藤亀齢

皆さん　明けまして御目出度うございます。

さて愈々昭和三十八年の新年をむかえる事になりましたが、人間は妙なもので新年の声を聞くばかりで何だか気分まで新しくなるもので御座います。

そこで「一年の計は元旦にあり」と言ってありますように一応本年の事を考えて見たいと思います。

先づ産業方面におきましては柑橘増造成のためにブルトーザーを購入いたしまして未墾地の開拓に踏切りましたところ、非常な歓迎を受けまして目下大活動中でございます。土地改良区の真価も次第に認められ道路、水路、樹園地造成等、農業近代化資金の活用と相まって益々伸展しつゝあります。

そこで更に農業構造改善に踏み切るため予備指定を受けるよう目下大努力中でございまして其の実現も近きにありと考えております。

町政施行に対しましても皆様の要望でもあり他町村との釣あいもあり、村外出働者の希望等もありますので、其の施行を本年四月に実現出来るよう努力中で御座います。

其他教育方面では津奈木小学校の給食室が完成するし、津奈木干拓は第四年目をむかえて益々事業が拡大しますし、考えて見ますと実に多事多端な年で御座います。

以上今年の重なる仕事を申述べましたが、何を申しましても是等はすべて津奈木村の発展を目ざした事がらで御座いまして、又直接私達村民の問題でも御座います。

そこで皆様方にお願いいたしますことはすべて村民一丸となって当らねば成功はおぼつかないことで聖徳太子が「和を以て尊しとなす」と言われたように村民の融和統一が一番大切な事でございます

此際他町村も団結を固めるでしょうから本村もそれに劣らぬ結束が必要な事は申すまでもございません。

年頭の所感

議長　福村広人

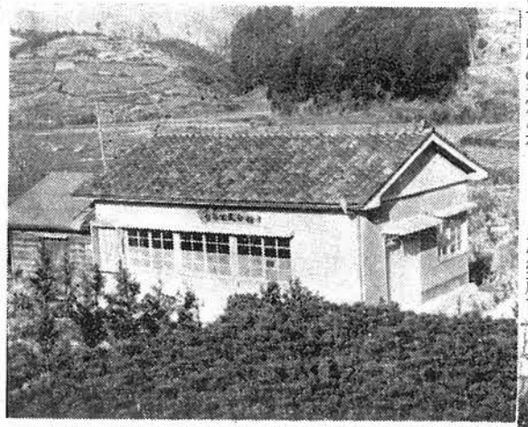
こゝに新春第一日を迎えまして村民各位の御感想はいかがでしょうか。わが村に於て本年こそは未曾有の一大躍進への初年度であり且つ村民のみなさんが過去の因襲を反省打破し以って歴史的世界の時流をキャッチし其処に立却した生活態度であらねばならないと思います。即ち本年四月一日は明治以降の先輩各位が今日たらしめた歴史的村を町に改めることですこの町制施行により外容は躍進大発展への様相を呈してきましてもその実が伴はねばなりませんがそのものん気な所です。

次に戦後移民はどんゞ伸びて今は戦前入植した人達をはるかに追越している人もいます「トメヤス」でも戦後移住者は皆な戦前の人の「コロノ」生活をわずか三年して独立し十年足らずの内に戦後移民の大きな基礎をきづき底力を蓄積していられます。吾々みたいな身体一つで移民して大きな希望がもてるだけブラジルはたしかに良い所です。

「後記」

倉谷部落公民館

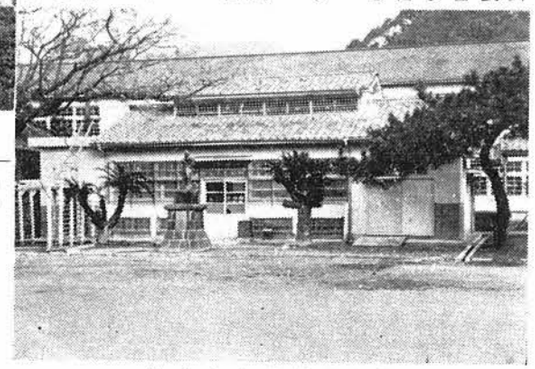
建坪　一四、五坪
工費　四十五万円
一坪当りの単価からしても、又写真で見てもわかるとおり、ここらあたりに見ることのできないデラックスの公民館である。落成式は一月中旬の予定とか。



津奈木倉谷部落公民館

津奈木小学校給食室

前村長斉藤藤吾氏嚢嗣子斉藤吉之助氏より寄附、壱百五拾万円を加えて施設及び設備費参百六拾四万八百円・事務費八万九千百円落成式は一月上旬の予定完成すると県下で最初のボイラーを持つ給食室となる。



津奈木小学校給食室

和歌

谷間よりほい上りきて樹々に散り渦の香に匂い消え去る朝霧　宮崎　漫

海嫌の死体あがらずとぼとぼと仮埋葬の行列のゆく　斉藤亀齢

この熟柿歯のなき人におくらばや　千々岩頼母

天草も甘藷掘りかも山々にけむりほのかに見ゆる小春日　岡松　壮

明日の台風宮崎に上陸のニュース聞きつつ病む父にあわんと準急にのりこむ　溝口よしの

発車のベルはげしく鳴りぬ今はかえらん課外やありけん吾子は来らず　林田

久々に本家に来しを掃除させ老妻は嫁に厚く礼をいう　緒方洋

新生活到るところに花咲けど真の花びら落ちてなしも　稚葉閏二郎

木枯しの吹く夜晩くまでひもときの妻は縫いおり五番目の娘のために　竹永修人

分科会特別講演に質疑さし科学の世界にも安易感漂う　松本敵

およろこび

婦人会館で結婚式をあげられた方々です。お目出度うございます。

松本　竹男
前田　節子　七月二十二日
山本　唯美
前島　五月　十月十三日
真野　修明
森田　尚子　十月十九日
山崎　博志
北山　桂子　十月二十五日
伊藤　庸憲
奥　由子　十一月四日
浜田　長義
石田つぎえ　十一月十六日
豊崎　洋
福崎　久子　十二月十五日

お願い

和歌俳句などについて論じ合い読書感想などを語り合うことから吾々の教養を高め、引いては津奈木村の進展に資したいという意図から生れた会です。

例会は、毎月第三土曜午後一時三十分から公民館で開きますから御遠慮なく御参加下さい。

尚、和歌の原稿は第二十日曜までとなっています。どしどし御投稿下さい。

山口　敬
吉村　幸子　十二月二十一日
前坂　良規
野崎しみ子　十二月二十一日

国民健康保険
健康優良家庭表彰

津奈木村国民健康保険では、昭和三十七年度の健康優良家庭（昭和三十六年十月一日より昭和三十七年九月三十日までの一年間、家族全員の健康保持と保険税を完納した）一二四世帯の表彰式を行った尚、来年度より四月一日から翌年三月三十一日までの一年間に変更される

声の公民館報から

毎週火曜の午後七時半から有線放送で送っています声の公民館報をお聞き下さって有難うございます係りではこれが村の発展のために少しなりとも役立つようにと努力しています。よい話題がありましたらどうぞ御教え下さい。そして村の発展に御協力願います。

ブラジル便り

門崎一之君

昭和三十六年六月二十一日南米ブラジルに渡航されました門崎初義氏の二男一之氏より最近の便りが来ましたので抜すい現文のまま発表いたします。

拝啓　日本を船出してから早や一ん年の土地を一時借用して野菜を作年余「中畧」もうすっかり食物にもなれ、子供達は毎日元気で通学しています。昨年は敏治と義之が一、二番で敏治は途中で上学級に進み今では義之が一番です。学校の勉強もやかましく学校では日本語は話してはいけないそうです。又一週一回の試験で五〇点以下はどんゞ落第です。『葉はブラジル語ばかりで初めは子供達も困っていたが今では子供達が通訳してくれます。そして誠はブラジル人の子供達と毎日たのしく遊んでいます。

次にアマゾン地帯の様相もいろいろ話をききますから自分としても計画を立てています。一朝一夕には行きませんので今から十五年の目標を立て実現させ様と思っています。それには先づ資金の問題です。ブラジルはおもしろい所で商売でも野菜作りでも、なんでもおもしろい程金になります。

それで皆「コロノ」生活を早くやめ、独立してやっています。人に使はれている間はだめです。早く人を使わなければ、それには資金と言葉も早く覚える事です。

私達が沢田さんに来てから独立された人、東京農大卒の鈴木さんが親切で「アカラ」に行って鈴木さんに参考までお知らせします「ピーメンタ」栽培は人件費と肥料代が高く相当の設備が必要です。其の点「ヤシ」栽培は非常に有利ですが土地の選定が必要です。

「中畧」

次に「ピーメンタ」栽培は人件費と肥料代が高く相当の設備が必要です。其の点「ヤシ」栽培は非常に有利ですが土地の選定が必要です。

将来性もあり有利なのは牧場経営らしいですが資金と年数が必要です。それでその前の段取りとしてブタ、ニワトリ、アヒル飼育等の仕事が山ほどあります。兎に角、ブラジルは良い所でバナナでも、家畜でも「マンジョカ」すべて手数はかゝらずに食べるだけならとてもものん気な所です。

次に戦後移民はどんゞ伸びて今は戦前入植した人達をはるかに追越している人もいます「トメヤス」でも戦後移住者は皆な戦前の人の「コロノ」生活をわずか三年して独立し十年足らずの内に戦後移民の大きな基礎をきづき底力を蓄積していられます。吾々みたいな身体一つで移民して大きな希望がもてるだけブラジルはたしかに良い所です。

「後畧」

年頭のあいさつ

千々岩　頼母

あけましておめでとうございます
局長在任中はいろ〳〵御世話になりました今後共何卒よろしく

初夢

一、郷土先徳者の行跡を私達の日常生活に生かし度い
一、津奈木の現状をあらゆる角度から調査研究して其のくわしい見取図をつくり度い
一、郷土の過去をかへり見現実を知って本村の未来図即ち理想像としての写真をつくり度い
一、郷民親和団結協力一致して其の理想に精進努力したい
一、そして文化の香りゆかしいよりよい村、黄金華咲く豊かな村明るい住みよい村を皆と共につくりたい

之が私の年頭悲願の初夢です

松本　敏

庶民者らに発言の機会を与えられ館長に敬意を表する事を年頭の慶ごと致します。三百字で津奈木の未来図を書けとは、ちとナンセンス過ぎると存じますが、衆知をあつめると言うには至極適切な企画かとも思へます。由って私なりに一言して御請託に答えます。

酒と莫は養生に害ありと教わって育ったので、三つ子の魂百までとやらで酒や莫を保護する国策に疑惑を持ちます。それで未成年者には決して盃を差さないと言う事は成人吾々の大きな儀礼だと言う事を提議したい。つぎは簡単に抽象的に申します。

津奈木の村政が後ろ向きだとは決して申しませんが、亦決して活発であるとも申せません。之は指導層が摸倣ばかりが多くて読書不足の為では無いか非か。

教育委員長　福島峯雄

新しい年を迎え誠に意義深いものがある。まず感ずる事は本年の計画である。そう思うと除夜の鐘を聞き乍ら一年を反省した事が又蘇えって来る、教育面に於いても難かしい諸問題が山積して居る。本年も又其の延長であり連続である事に間違いないと思う。お互い人間であり、物に限度があり、時代は日進月歩であるからである。現実は誠に油断も敵も出来ない。お蔭で村民は勿論村執行部の御理解と村議会議員の御協力を得て過年度五ケ年計画（津奈木小学校の新校舎給食室新築赤崎小学校の講堂平国小学校の一部教室の改築津南中学校の体育館新校舎の増築）も無事三十七年度で達成し、三十八年度は新しい気分で新教育課程を基にした内外の充実を図り児童の能力向上に努力したい。

永竹　津奈木郵便局長

豊かな山林と海に面した本村は全く平和郷でそれが却って温室育ちの弊害となっている。一つの没の中に閉じ籠り本村だけで問題の解決を計るには余りにもスケールが小さく声北郡を一つの単位として需要供給の原則に副った産振計画の樹立による生産の向上と販路の拡張こそ急務ではなかろうか、世界の状勢ですら欧州経済共同体（EEC）のように異った国々が集団化され利益の追求と共同市場の防衛をはかっている歴史的事実が何かを物語っているといえよう本村の経済基盤の確立と発展は郡を単位とした連帯性の強化と優れた技術の導入により周到な計画と実行でのみ達成でき輝ける将来が約束されるであろう。抽象的な発言となったが本村における産振計画の重点施策については賢明な為政者の叡知におまかせしたい。

高木信行

津奈木村の発展は一村和合し無益の争をなくする事等村一致団結し事業計画遂行する事に依るものと考へる現在においてそれが不可能である。夜岡松教育長薩原村視察談放送なされました通り杉山の発展は片平信明翁の卓出した誠意の人であった事一村更生の方途に報い社会を造りたいと存じます。毎年七月法務省主唱その他団体協力の下社会を明るくする運動が展開されます結果は相当の効果が与っています。本村婦人会でも過去三ケ年に亘り廃物収集、入所中の人達に愛の図書を贈られ感謝されています。一度罪を犯した人達は必ず二度と罪を犯さないことを誓はないものはありませんそんな気持で出所して来たものゝ若家庭や社会人の冷たい眼で指弾を受けるようなことになれば反動的に再犯する人が多いのであります。村民の皆様罪を憎んで人を憎まず暖い心で迎え愛の力で罪悪逐放を推進したいと念じます。

岡松　壮

「小型自動車で家内と二人で日本国中巡ってみたい。」これは私の夢である。

甘夏柑なら二年で実をならせてよいという話に欲が出て、少しばかり苗を植えてみようかという心境になった。これは私の現実の問題である。

図　自分の職業に役立てるために自動車を持って、奥さんも（御主人は勿論）運転できるーそんなゆたかな様に

そして一方「人のためには涙を流す」ような美しいおおらかな心の持主の村民に、

丁度青年のコーラス部が、ガメツク練習を積んで上達するに従って、しかも心情はいよいよ美しく磨かれていくように。

徳式方法を選ばれた為村民大に醇化した事に因ると伝えられてあります本村も農業構造改善事業の指定を受得る休制を固めそれに依て農林道の新設ブルトーザに依り山林の開拓をなし金山相磯間に肩替をなす事及農協の発展に協力し農林漁業賃金導入をなし希望者に土地嵩入賃金及び開墾費など貸付け生産期になった時は全村共同出荷を行い津奈木蜜柑の良品を海外に売出して始めて村の発展と存じます。

平国小学校長　福島季任

昭和三十八年の新春を迎えまして、今年も村民の皆さんが御健勝で生業にいそしまれるよう心から祈念いたします。

毎年〳〵同様のことを繰返して五十才にもなった今日では、正月といっても、余りにもなれきって格別の感慨も湧きません。がしかし歳が改まりますと心もまた新しくなるような気持になり、何かしらほのかな郷愁めいたものを感じます。小さいころからの慣習によるのかも知れませんが、初老ーといっても若いつもりですーの今日でもなおそういう気分になるところはやはり日本人の一人である証左かも知れません。

「栄冠を得た日の思い出」

コーラス部員　多武継義

その瞬間、私は隣の人の肩を拳でたたきながら、とどく限りの手を求めていた。私達は優勝したのだ！「よかった、よかった。」言葉はただそれだけであった。喜びのはとんどは、その様な動作によってしか表現するすべを知らなかったのである。熱いものがこみ上げてくる。しかしそれは決して体外にほとばしる様をしなかった。不思議だった。むしろそれ以上の何物かが、私の身体をつつんでいたのであろう。それは「緊張」と呼ばれるべきものかも知れなかった。しかしはっきりはわからない

私がコーラス部にはいったのはそれが結成されて間もなくのことであった。混成四部合唱の何たるかも知らず。ましてや、ソプラノテノール等々についての知識も私の大脳の片隅に、おぼつかなげにこびりついていた程度のものでしかなかった。最初、五線の上に一見無造作と思われるほどに、あるものは上を向き、あるものは下を向いて散らばっている「御玉杓子」を見た時、自分はどこの所をどう歌っていいのか、皆目わからなかった。幾多の苦労があった。楽しい事もあった。寒い日もあった。息苦しいまでに暑い日もあった。それらが交錯して月日は流れて行った。無造作に散らばっていると思われた「御玉杓子」が実は一つの意志によって、ある所は赤くある所は緑色に、又ある所は神秘さをたたえて澄み渡る紺碧の秋空の色をして、整然として並べている事がおぼろげながらわかる様になった。

すばらしい事であった。だが正直な所、これまでになったとは言え、全国優勝など夢にも考えなかった。一人二人をとりあげてみれば、すばらしい声のチームは他に幾らでもあった、だがそれらのチームがどれ一つとして入賞しなかった事を知った時、私はコーラスの何たるかを更に深く理解出来た様に思えたコーラスをささえるものは一人一人の美声ではなかった。それはすべてを総合して得られる調和の美しさであり、バランスの変化の美しさであると私なりに解釈してみた。この事は、コーラス以外の事にも言える事ではないか……

これまでに私達を育ててくれた人は、そうだ！草野先生を胴揚げしよう！出発を聞きに行って帰って来る先生を、私達はせまい通路で待ち受けた。コンクリートの壁が反響して先生の体が幾度か宙にまった。私はその時始めて、目頭の熱くなるのを覚えたのである。

（写真は水俣駅にて）

今月の納税

村民税　第四期
国民健康保険税第四期

一月三十一日

田上一智

あけましておめでとうございます
年頭からと叱られるかも知れませんが夢を描いてみます。三太郎が貴通すれば水俣熊本間の特急バスが出来約二時間で熊本へとなりましょう。其の内に沖田にヘリポートが出来てブーンとヘリコプターで熊本へとは如何です。何しろ東海道で試走して居る夢の超特急は時速二〇〇粁以上これで走ったら熊本まで三十分いやはやあきれてしまいます。考へてみると外側許りが早廻りして居る様な気が致しませんか、ここらで私共自身を考へてみる必要がある様です。今では濁流の中へ自分が泳げるのか泳げないのか考へもしないで飛びこむ様な姿です。おし流されてしまいます。これで良いのかとふりかへってみる必要があるようです。

津奈木小学校長　田添正人

明けましておめでとうございます
本校赴任後二年村実態子供の実態も事理解され学校経営もこれからだと存じます。村民各位の絶大の御力添えを願います。

算数の県委嘱の大研究会も郡市は勿論郡外よりの二百五十余名の教員を集めて開き県講師よりもサービスセンターとしての努めを果すようにと、高く評価された事を喜ぶと共に意欲を倍加した次第であります。更には前村長の多額の御寄附もあって年来の県一を誇る給食室も完成致しました現在愈々子供の体位向上に研究を加え名実共につなぎの良き子供の育成に全力を傾注したい所存です。人づくりの叫ばれている昨今、本村の発展の為に渾然一体の御協力を御願い致します。

緒方洋

明けましてお目出とうございます
今年も又どうかよろしく。

私はよろいが岬にしばらく立って不知火湾岸から津奈木の奥へ目を走らせたことがありますが本村産業発展の逐上、懸案だった干拓は着々と進み未来の耕地が引潮には姿現し、大きく津奈木の浦が変化する、ほんとうに本村にとっては大きな事である。その向うにヤクゾ岳の麓一帯南面して風も除けられ、なんと柑橘の好適地ではないか、引続く泊、大泊の一帯、赤崎平国福浦まで若し構造改革の指定でも受けられたら大集団地の形成が出来る、味と色のよい海岸地帯に造園計画されることこそ肝要と思われる。叶ったら河内、小天に勝るとも劣らぬみかんの村が待っているのではないかと、しばらくたゝずんだことがある。

保護司　志崎鳥末

明るい社会を
池田総理の三悪逐放提唱の中暴力（こゝでは犯罪の総てを指す）追放を徹底せしめて皆様と共に明るい社会を造りたいと存じます。

斉藤たま

新年お目出とうございます。
今年も相変らず、どうぞよろしくお願い致します。毎年〳〵今年こそは、と、新しい希望をもって、新年を迎え乍ら反省すれば恥かしき事ばかり。今年こそは良き年でありますように、一歩前進、進歩してやみません、津奈木村の為にも、本年は選挙も次々にあるようです、この時こそ、自主性を活し立派な村づくり国作りにお役に立つ時ですそして和やかな新しい生活、窓ごしにも出来る豊かな思いやり、たとへばお隣り同志で新聞や本でも、かえっこして見ればいくつも読める。外見や見栄にこだわらない、生活を中心にした実質本位の合理性がつぎつぎに生かされて生活をムダなく、より豊なものにしてゆきたい。

津奈木村助役　松原兼義

私のちいさな願ひ
今日の一日に最善を尽して悔ひのない仕事をする。この一日々々の集積が最高の一ケ年となること を念願しつゝ毎年の新年を迎えるのですが、さて実際を反省して見て何んと悔ひ多いことでしょう。世の多くの人々は大てい新年から日記を書く、家庭では家計簿をつける。だがそれが何時まで続くことやら。或る頭のよい出版屋さんの発行した日記帳が極めて新新で飛ぶやうに売れたとのこと、一見何んの変てつもないが内容はふるっている、一月の月が十五日までで後がない二月の欄もなければ三月もないづゝとなって十二月が二十日頃から後だけある紙数で云えば一年分が二十五六枚いや二十五六日分。人間の中だるみや尻切れとんぼ式の意表をついて又妙今年こそはこんなことにならんよう悔いを残さんように張り切った気持で一切の仕事と取り組みたいと思ひます。

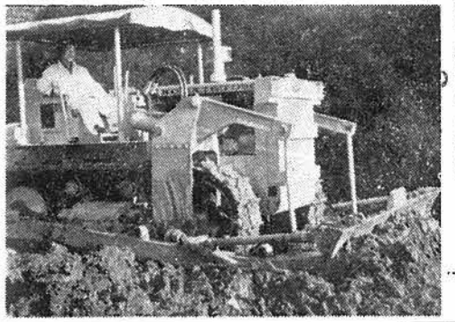
農業基盤整備の機械力化

村のブルドーザが、十二月六日に着き、十三日には、役場裏阿蘇宮建設予定地に於て、各関係者をお集り願い、厳粛に入魂式を行いました。

現在、倉谷、上下門地区で樹園地造成や、全面深耕に大活躍を致しております。

農業近代化、農業構造改善が呼ばれている今日、道路作り、開畑果樹植付の全面深耕等と、農業基盤整備の大きな推進力となるものと期待しています。

「百聞は一見に如かず」と云われます、皆様も是非現地を御覧になって、充分活用していただきたいと思います。使用申込は、役場経済課にしてもらいますと、係では地区の調整を行い、貸付予定をたて、お知らせします、後からの申込は割込む事はできませんので、早めに申込んでください。



農業暦

明けましてお目出度うございます
新しい年を迎へまして、私達の津奈木が如何にしたら、将来豊かな村となる事が出来るか、幸せな生活が出来るか？と考へて見る大切な時であると思います。先づ、私達は此の村が、どんな気候風土にめぐまれているかを再認識しなければなりません、私達の村はみかんに非常に適した気候の地帯に位し、果実の生命である味の点でも、其の母である土が赤土で、決して他の産地には負けない好条件を持って居ます私達の村が栄へるか否かは、其の好条件を生かすか生かさないかによって決まります

現在の津奈木の農業収入はどれ位有ることでせう、水田が約一八〇町歩で反当平均七俵としても一万三千俵に足りません、一俵五千円としても六千五百万しか上りません、それに他の作物の収入を加へても一億円にはならないと思ひます、然し田畑合せた約四〇〇町に仮にみかんが生産されるとしたら、おそらくびっくりする数字が出ると思ひます。

仮に一反から十万円上ったとしても四億円は可能です、田浦の場合を見ても解りますが昨年は、甘夏みかん丈で、一三万〆出荷し今年は二五万〆の予想で、津奈木の一八〇町歩の米の生産量を六千五百万としても此れに肩を並べますその田浦が水田に毎年四、五町歩以上みかんの転作が行はれて居ますし、又昨年三万本、今年は四万本と急激に植植されつゝある姿が解らずは居れません。

津奈木は田浦町に比較して、数段の好件件を持っています、若し津奈木に金の鉱脈でもあるとしたら、一生懸命に掘る事でせう。金は出なくても、黄色紅色のみかん金のなる木が生へる土地がねむっています。私は津奈木の人々がお互ひに手に手を取って田浦町に負けない強い意志と努力があるならば、将来は決して負けないと思ひます、其の時こそ日本一の津奈木が生まれる事でせう

津奈木にもブルトーザが入りましたし、構造改善の予備指定も受ける今年こそお互ひの農業の在り方を再検討し、昔からの甘藷、麦、水稲農業から早く脱皮して、新しい近代化農業をめざして進んで行かねばならぬ責任が、現在の我々経営者に有り、又私達の先祖や、今から生まれて津奈木で生活する人達のつとめであると強く感じます。

我々果樹同志会でも、おくればせ乍ら系統の正しい、しかも安く村民の皆さんに喜ばれる立派なみかんの苗を育成する様になりました。三八年の年頭を機として、将来津奈木の山、畑水田が黄金の色に埋もれる事念じ、村民全部が一体となって果樹増植、増産に一生懸命がんばろうではありませんか！

果樹同志会長　寺本一喜